

大阪 判断材料に乏しく市況は膠着ムード

(大阪)大阪地区の鉄スクラップ市況は膠着商状。月替わりを迎え、荷動きに落ち着きが見られるが、電炉需要が足並みをそろえて上向いてくるような局面でもなく、市況は様子見ムードを強めたままにある。

大阪地区電炉のH2実勢は5万1000~5万2000円、一部上値5万2500円どころで推移している。

湾岸筋によっては先月後半からの上級玉への引き合いを継続し、東京製鉄関西サテライトヤードも先週に小幅下げへ動いたが、検取メリットが残ることを理由に、市中からの向け先は分散が続いている。これに市中発生の上値も加わり、電炉筋の中には月替わりと同時に入荷が減退へ転じていることが伝えられる。来週

末からは3連休を控えるため、今後の荷動き次第では電炉側の引き合い強化も十分に考えられる。

ただ、電炉筋によっては在庫余力を抱え、7月入り後も安定した入荷を維持しているところもあるため、全体の需要が増えてくるような環境ではなさそうだ。為替が1ドル=160円を突破しているが、アジアミルの引き合い自体が乏しく、輸出商談の押し上げには至っていない。世界的な鋼材需要の停滞に加え、今月後半からは電炉3社による夏季炉休が予定され、市場の弱気要因は残る展開にある。このため、「強弱材料が存在するが、市況を反発させるような力強さは見当たりにくい」(商社)と様子見を予測する声は根強いままにある。

人事 マキウラ鋼業 金鎮洙(キム・ジンス)氏が専務取締役に昇任

マキウラ鋼業(本社=兵庫県姫路市飾磨区、薪浦州平社長)は7月1日に臨時株主総会と取締役会を開催し、同日付けで金鎮洙(キム・ジンス)取締役営業部長が

専務取締役、井寄裕也(いより・ゆうや)執行役員生産本部長が常務取締役にそれぞれ就任したことを発表した。

西日本 24年1-5月累計輸出量は前年同期比12.5%減の64.8万ト 過去10年で最も低い水準

財務省貿易統計(HSコード7204)によると、西日本地域の24年1-5月の鉄スクラップ(雑品、ステンレスなど含む)輸出量累計は前年同期比12.5%(9万2959ト)減の64万8634トだった。同期間の累計ベースでは過去10年間で最も低い水準となる。

地区別では関西の24年1-5月輸出量が前年同期比20.4%(5万2009ト)減の20万2790ト、九州地区も同比14.5%(5万9688ト)減の35万1244トと減少幅が以前に比べて改善しているが、数量面で見れば、両地区ともに大幅に落ち込んだままだ。一方では、中四国が

同比24.7%(1万8738ト)増の9万4600トと地域間で増減がはっきりと分かれている。

向け先別では韓国向けが同比48.8%(16万3800ト)減の17万1743ト、台湾向けも同比23.1%(3万3327ト)減の11万637トと大幅に落ち込んでいる。中国向けも同比で34.4%(1万5784ト)減の3万69ト、遠方向けが大部分を占める「その他」も同比21.5%(2万6750ト)減の9万7684トであった。ベトナム向けは同比約2.6倍(14万6702ト増)の23万8501トと向け先で最も多く、1-5月全体量の36.8%を占めた。

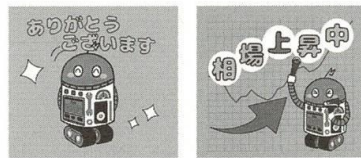
ワンライブ、イメージキャラクターのLINEスタンプを作成

金属リサイクルや経営コンサルタント事業を展開するワンライブ(本社=兵庫県尼崎市、百井一貴社長)はこのほど、広報活動の一環として無料通信アプリLINE(ライン)で使用できるLINEスタンプを作成した。

今回、スタンプのイラストには同社のイメージキャラクター「エルワン」を起用した。スタンプは24種類で、「ありがとうございます」などの定番のセリフや「相場上昇中」などのユニークなものまで、バリエーションに富んでいる。LINE内のスタンプショップで、「エルワン」か「エルワンくんpart1」の検索キーワードを入力すると購入できる。価格は50LINEコイン。

同キャラクターは超合金のロボットをイメージしており、「環境に適した進化や変形をするロボット」をコンセプトに制作。キャラクターの目元には、資源循

環を表す意味で∞(無限大記号)マークの模様を描き、両手には成分分析計と携帯型サンダーを持たせている。また相場情報を受信するためのアンテナを頭に付けているなどのキャラクターの設定にもこだわっている。



LINEスタンプ

今回のLINEスタンプについて百井社長は「当社を知ってもらうきっかけになればと思い、スタンプを作成した。仕事上で使えるものもあるので、リサイクルや産廃業界で働いている方々に使ってほしい」と話している。